

# 令和 4年度予算見積調書

課室名：エネルギー環境課  
 担当名：創エネルギー推進担当  
 内線：3047 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B14	エネルギー脱炭素化促進事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	脱炭素分散型エネルギー社会構築事業費			
事業期間	平成23年度～	根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律、地球温暖化対策推進条例、FIT法			針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	7, 13, 11, 17	
					分野施策	1006	地球環境に優しい社会づくり	SDGsターゲット	7-3, 13-1, 11-6, 17		
1 事業概要				5 事業説明							
2050年カーボンニュートラルの実現に向け、災害時における面的な電力利用や平時における複数事業所間での電気・熱エネルギー融通など、モデル的な分散型エネルギーの利活用を行う取組への補助や次世代エネルギーとして期待される水素を使用した燃料電池自動車の普及啓発をとおして、エネルギーの脱炭素化促進を図る。 (1) エネルギー脱炭素化設備整備推進費 20,317千円 (2) 安全・安心な太陽光発電施設設置推進費 4,871千円 (3) 燃料電池自動車維持管理費 2,278千円 (4) 燃料電池自動車普及啓発費 654千円 (5) 県庁スマート水素ステーション維持管理費 20,152千円				(1) 事業内容 ア エネルギー脱炭素化設備整備推進費 20,317千円 災害時における面的な電力利用や平時における複数事業所間での電気・熱エネルギー融通など、モデル的な分散型エネルギーの利活用を行う取組に補助する。 イ 安全・安心な太陽光発電施設設置推進費 4,871千円 メガソーラーによる乱開発が社会問題化するなかで、太陽光発電施設に対する監視を強化し、国、市町村及び環境管理事務所と連携して、適正な太陽光発電施設の普及に取り組む。 ウ 燃料電池自動車維持管理費 2,278千円 公用車として導入した燃料電池自動車（FCV）の維持管理を行う。 エ 燃料電池自動車普及啓発費 654千円 県政出前講座等でFCVをPRするとともに、環境イベント等を実施する市町村へ貸出を行う。 オ 県庁スマート水素ステーション維持管理費 20,152千円 公用車FCVに水素を供給するための県庁スマート水素ステーション（SHS）の維持管理を行う。 (2) 事業計画 令和 4年度 「分散型エネルギー普及推進事業費」「燃料電池自動車普及推進事業費」「水素エネルギー普及推進事業費」の3事業を統合 (3) 事業効果 ア 分散型エネルギーの利活用による自立電源の確保、災害時にも強いエネルギーシステムの構築 イ 適正な再生可能エネルギーの活用による、CO2排出量の削減 ウ FCVの普及によるCO2排出量の削減・環境負荷の低減							
2 事業主体及び負担区分											
(1) (県1/3) 事業者2/3 (国1/3) (県1/6) 事業者1/2 (2) ～ (5) (県10/10)											
3 地方財政措置の状況											
普通交付税（包括算定経費） (区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費 (細節) 環境保全対策費 (積算内容) 地域の実情に応じた環境保全対策											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員											
9,500千円×3.0人=28,500千円											
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比		
決定額	48,272	国庫支出金	20,317					27,955	△29,936		
前年額	78,208							78,208			